

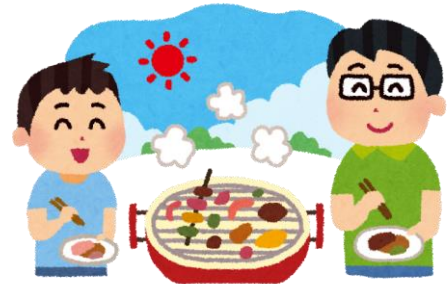
	<p>串木野中学校教頭通信</p> <h1>Kyo to correspondence</h1> <p>～当たり前のことを当たり前～</p>	<p>第3号 令和5年 5月 2日 (火)</p> <p>いちき串木野市立串木野中学校教頭 文責 長岡</p>
---	--	---

連休中の過ごし方について！

いよいよGWがスタートします。部活動の試合や練習もあると思いますが、せつかくの大型連休です。近年は新型コロナウイルスの世界的流行で様相が違いましたが少しずつ緩和されてきました。新年度の疲れを取り、リフレッシュして思い出に残るGWにしてもらえたらと思います。

また、学習面でも復習をするいい機会でもあります。計画をしっかりと立てて、自分が苦手と思っている教科ほどしっかりと取り組んでほしいものです。

さて、この期間に鹿児島県内では中学生の命が失われる悲しい事件が過去にありました。やはり一番大切なのは「命」です。連休中は外出の自粛ですが事故のない生活を心がけてください。



- ① 日没までに帰宅します。午後6時のミュージックチャイムをめぐりに帰宅しましょう。
- ② 自分で判断して危険場所には行かないようにしましょう。
- ③ 自転車を使うときには交通ルールを守りましょう（ヘルメット着用努力義務）。
- ④ 交通機関を使う場合はマナーをしっかりと守りましょう。
- ⑤ 18時以降の外出、外泊は保護者同伴の場合を除いて禁止です。

がんばってほしいこと

- ・ 家族や地域の一員として、貢献しましょう。
- ・ 事故のない生活を心がけましょう。
- ・ 計画的な学習を心がけましょう。
- ・ 読書をしったり趣味の時間を増やしたりしましょう。

気をつけてほしいこと

- ☆ 誘惑に負けず、正しい判断ができる勇気を持つ。
- ☆ 危険を予知・予測して行動しよう。
- ☆ ゲームや携帯スマホの時間が長くならないようにしよう。
- ☆ 健康面に留意し、規則正しい生活と疾病の予防に努めよう。

※ 先日、生徒指導部から配られたプリントもしっかりと確認をしましょう！

今週の一言 (イチロー思考 より)

不運が続いたときこそポジティブになろう

自分の仕事の中に「面白さ」を見付けることこそ、偉大な仕事に挑んでいくためのエネルギー源となる。もちろん全力を尽くしてもうまくいくとも限らない。しかし、それで挫けてはいけない。うまくいかないことが続いても、「なんでオレは不運なんだ」と考えるのではなく、「うまくいかないことでますますファイトが沸いてくる。ここが実力の発揮どころだ」とポジティブに考えてみよう。仕事の中に「面白い」という感覚を見つけ出したとき、あなたは1つ成長したことになる。

信じ合えるなかまづくり 串中宣言

わたしたちはいじめを絶対に許さない。人の心を傷つけ、ボロボロにしてしまういじめは、この世の中に絶対あってはならないことだから。いじめをすることも、させることも、そして知らないふりをすることも、わたしたちは絶対に許さない。学校は誰にとっても楽しくて、安心できる場所でなくてはならないから。

みんなの笑顔が輝くために、わたしたちは次の3つのものを大切にしていこう。

一、 1つしかない自分の命

自分の命を大切にできないのなら、なかまの命は大切にできない。困ったときは、1人で悩まず周りの人に言おう。いじめられたときには、思ったことははっきり言おう。自分の気持ちを伝えることは、自分を大切にすることと同じだから。

二、 大切ななかまの命

わたしたちは1人で生きることはできない。なかまと助け合いながら生きている。そんななかまを大切にしていかなければならない。人を傷つけたり、悲しませたりしてはいけない。人が失敗したときは、それを笑ったりからかったりせず、元気になるようにやさしく話しかけよう。そして、なかまの気持ちを聞こう。なかまの気持ちを考えよう。大切ななかまだから。

三、 自分の中にある正しい気持ちを信じる心

自分の中にある正しい気持ちを信じよう。いじめがあることを知ったときや見たとき、いじめにあったときには、先生や家族、友だちなどのなかまに話そう。苦しんでいるなかまを1人ぼっちにさせてはいけない。1人で言えないときは、なかまと協力しよう。自分の中にある正しい気持ちを信じて、思ったことははっきり言おう。

みんながこの3つを大切にできたなら、いじめはきっとなくなる。

みんながあたりまえに学校生活を笑顔で送れるように、

わたしたちはいじめをなくすため、全力でがんばることを、ここに宣言します。